

中澤／2

保護者が学ぶ場。

就学前の乳幼児期から

支援が受けられる。

新生児聴覚スクリーニング

が

普及し、

今までより幼い子供も

来るようになった。

呼びかけに気づかない、

そういう子を心配した保護者がいる。

就学前の子供の保護者のために、

継続的な相談を行っている。

3

生後2～3月後から検査が

受けられるようになった。

重度重複児の発見も可能となった。

東京都では、早期発見の

重要性が示されている。

(3)

①

②

親御さんへの支援が開始される。

情報提供などを行う。

母親は、我が子を見て、

どうしてうちの子だけがと

感じる。とてもつらいこと。

③

耳鼻科医による検査。

④

聴覚活用の支援、

コミュニケーション支援、

母親への支援を行う。

⑤

教育療育がスタートする。

保護者への心的サポート。

母親の不安によりそう支援。

難聴かもしれない赤ちゃんの

コミュニケーション支援などを行

う。